

1 平成27年度医療安全に関する研修会 開催内容について

- (1) 日時 平成27年9月5日(土) 午後2時から午後4時
- (2) 場所 旭川市障害者福祉センターおびつた 会議室1
- (3) 演題 「院内での多剤耐性菌対策を考える～平常時における対策を中心に」
- (4) 講師 医療法人徳州会 札幌徳州会病院 感染管理認定看護師 井畑 理沙 氏
- (5) 研修形式 外部講師による講演, 参加者同士での意見交換, 質疑応答
- (6) 講演内容 多剤耐性菌に対する平常時からの管理体制として, 組織として取り組むべきこと, 手洗いや水回りの管理等 具体的感染防止対策, 地域一体としての多剤耐性菌防止体制に取り組む重要性について講演がある。
- (7) 参加者 旭川市内の医科医療機関及び介護老人保健施設に従事する職員 55人
(病院 21施設, 医科診療所 4施設, 介護老人保健施設 3施設 計28施設)

2 研修参加者へのアンケート実施結果について

アンケート回収数: 50人
アンケート回収率: 90.9%

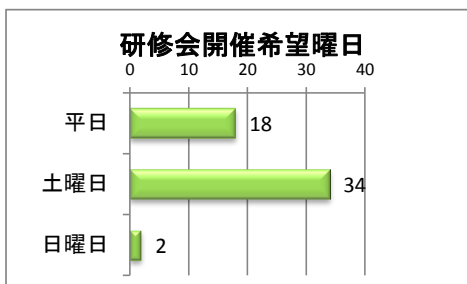
(1) 研修会開催希望

ア 参加希望曜日(複数回答)

	回収数	割合
平日	18	36.0%
土曜日	34	68.0%
日曜日	2	4.0%

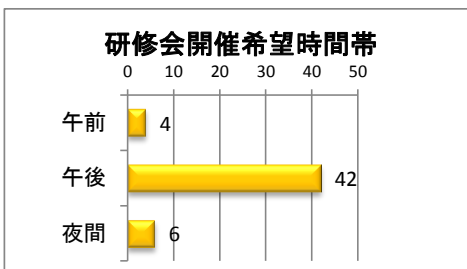
※平日希望曜日

水曜5件, 金曜4件, 木曜3件, 火曜2件, 月曜1件



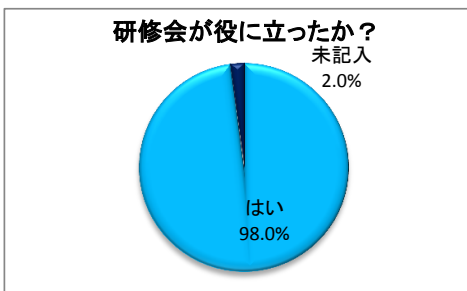
イ 参加希望時間帯(複数回答)

	回収数	割合
午前	4	8.0%
午後	42	84.0%
夜間	6	12.0%



(2) 講演内容が, 自院の院内感染対策にとって, 役立つ内容だったか?

	回収数	割合
はい	49	98.0%
いいえ	0	0.0%
未記入	1	2.0%



(3) 講演内容の中で, 貴院で取り入れたいと感じた内容や参考になった内容, 意見交換に関する意見について(抜粋)

- ・動画を見て, 日常何気ない事で, 感染拡大していくことが実感できました。意見交換で, 良いお話しが得られました。
- ・ICTラウンドなど実際に目で見て, 病院内で感染対策がどの程度できているか把握しているところ, グラフなど工夫されていると思った。私の病院では, 朝礼の時たまに「ここ気をつけてください」と言われているだけで, スタッフの意識は低く, 取り入れられたらいいなと思った。
- ・院内ラウンドは当院も取り組んでいるので, いつもどのようなテーマで行うか苦慮しているので, とても参考になりました。今回の講演は, 当院全職員にも院内感染の学習として聞いてもらいたい内容でした。
- ・抗菌薬の届出システム, 抗菌薬ラウンド等があると, 医師が使いすぎないように考えられるかと思いました。発熱したらすぐ使用等が減るように感じました。
- ・患者と接触の少ないスタッフについても, 感染対策についての意識強化が必要だとPHS検査で感じた。
- ・勉強会開催時の伝え方等を勉強させていただきました。
- ・感染経路の種類と表示として, 部屋の前に分かりやすいポスターをはる事が参考になった。
- ・清掃の人との会議等意見交換が参考になった。

- ・蛍光塗料でのデモンストレーション。いくらエプロン、ゴーグル、グローブと感染対策に力を入れていても、使用する人が理解していないとダメ。見える化が具体的でよかった。
- ・手指衛生の話、長い時間かけると菌の量が多くなること、すぎ時間のことなど。
手袋の話、実際のラウンドと報告、清掃のこと、抗菌剤届出制。他にもどれもためになるお話でした。
- ・PHSのMRSA検査では、患者の近くに行かない人からも検出されていることがあり、パソコンやPHSも定期的に清掃する必要を感じた。

(4) 貴院の院内感染対策として、課題に感じていることについて(抜粋)

- ・「知っている」「わかっている」レベルから「行っている」「実施している」レベルへの移行
- ・院長、部長、主任等の幹部がスタッフの負担の方を重んじているため、病院内の感染対策が進まない。
スタッフの感染対策の意識が薄い。
- ・日々の病院内(ベッド柵、収納ケース、床頭台)、患者個々のものとしているものの清掃、床、トイレ、手すり(廊下)は毎日清掃業者が行いできているが、上記内容が患者退院時に行えれば良い方になっている。
毎日行うには、人手の問題もあり難しい現状にある。
ゴミの分別、ゴミ箱の設置について、一つ一つ病室にゴミ箱設置、個々の患者用と感染ゴミ用でスペースギリギリ、設置の工夫に苦慮している。
- ・教育、介護特にヘルパーと外部の清掃委託などの教育もできればよいと思いますし、市や保健所としても計画してほしいです。
- ・勉強会を行っても、出る人、出ない人が決まってしまうところがある。本日参加しなかった方に、レポートを出してもらおう等の話を聞きました。
- ・手指消毒に関しては、全職員で努力していると思っていたが、まだまだ不足していると感じた。
今後もさらに努力を続けたいと思う。
- ・慢性期病院のため、コストのことが壁になりスムーズに行かないことが多いです。
- ・患者接触前後ごとの手洗いの徹底ができていない。手指消毒剤の設置場所の検討が必要だと改めて感じました。
- ・ラウンドが年2回しかできていない状況。当院は、感染対策室という専用の部署がなく、部署業務と併用のため手が回らない。いくら勉強会をしても、知識のレベルが一定化されない。
- ・知識、アイデアが少なく、他の施設をもっと知ることが必要。
- ・医師の認識不足と協力、通常の時の手洗い協力不足、なぜかこれくらいは大丈夫、自分は大丈夫と思っている。
- ・施設なので介護職員の意識と知識の向上。「怒られるからやっている。」「そうするようになっているからやってる。」という「やればいい。」という人が多い。やはり入所者にESBL増えてきてますので。
- ・スタッフの教育、また、スタッフの感染対策に対する意識の低さ。

(5) 今後、「医療安全に関する研修会」において取り上げてほしいテーマや要望について(抜粋)

- ・転倒、骨折の増加と訴訟などの対応
- ・疥癬について
- ・抑制に関する基準等
- ・システムやマニュアルを整備しても、それを守らないスタッフへの指導、教育方法
- ・持参薬、内服薬、与薬の管理方法
- ・細菌感染の知識のない人、介護職など専門職ではない人たちに、興味関心をひける感染予防の指導方法
- ・スタンダードプリコーション研修方法、特に手指衛生の指導のポイント
- ・今回のようなタイムリーな内容 例) 現在新たに問題とされる耐性菌、新たに追加変更になった法関係
- ・リスク感性養成